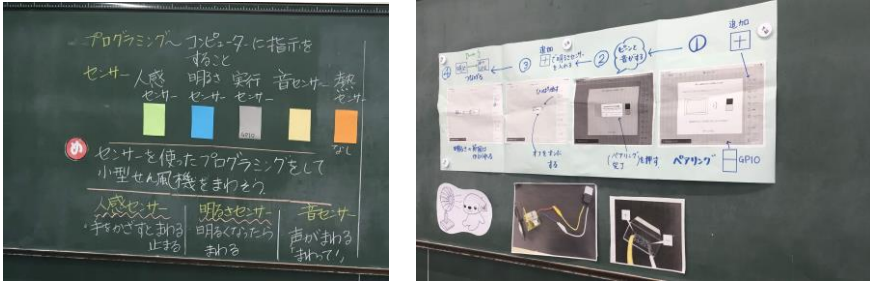
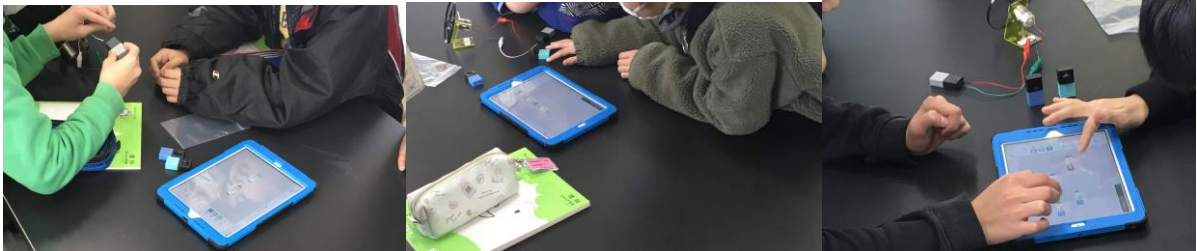
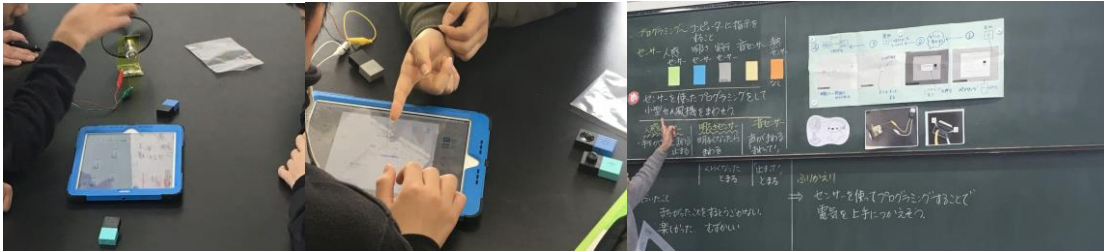


小学校プログラミング教育の実施レポート

学習活動名	電気を効率的に動かすのはどのようにプログラムを組めばいいか考える
学年	第6学年 理科（「電気の利用」）
目標	○電気は、作りだしたり蓄えたり、光、音、熱、運動などに変換することができるので、身の回りには、電気の性質や働きを利用した様々な道具があることを理解する。 ○プログラムによる制御の良さに気づき、表現することができる。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	MESH
環境	児童11名で11台のiPad端末を使用
都道府県	大分県
実施校	臼杵市立福良ヶ丘小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>【学習活動の概要について】まずは身の回りの電化製品で節電できそうなものを出し合い、扇風機がつけっぱなしになりがちという意見が多く出た。そこでプログラミングで効率よく使用するにはどのようなプログラムにすればよいかを考えた、人感センサーまたは明るさセンサーを利用すれば省エネできるという結論に至り、MESHを用いて実験をした。</p>  <p>【活動の様子】</p>   <p>人感センサーや明るさセンサーをプログラムして実際に節電できた。その後、各ペアで工夫する時間を設定したところ、マイクブロック（本体）での節電にチャレンジするペアもいた。</p>
成果と課題	1時間の授業の中で、失敗を恐れずトライアル&エラーする姿が多くみられた。複数のタグとiPadのペアリングが今後の課題である。